

ヴィゼウ[Viseu] - バリアフリー旅行プラン

について



ヴィゼウ[Viseu] - バリアフリー旅行プラン

主に灰色の御影石と多くの緑豊かな庭で華やかに彩られた旧市街であるヴィゼウは住人の生活の質の高さにより度々選ばれてきました。

[地図を見ながらお勧めルートを歩く](#)

住人と旅行者に対する心遣いはバリアフリー度という点においても顕著です。手入れが行き届き安定した滑らかな表面の歩道のおかげで誰もが快適に移動できます。例えばディレイタ通り[Rua Direita]の御影石板でできた中央道やレパブリカ広場[Praça da República]周囲にある触知式案内などにも時々出くわすでしょう。一概に低く作られた横断歩道で歩道は広いためお体の不自由な方でも自力で移動することができます。



Photo: Viseu - Funicular © Emanuele Siracusa

町を知るための一番良い方法としては、ローマ占領時代に遡ると考えられている築2000年を超える築城で2番目に古いモニュメントの1つ [カヴァ・デ・ヴィリアート](#) [Cava de Viriato] から郊外の旅行プランを開始されることをおすすめします。 [フェイラ広場聖マテウス](#) [Largo da Feira de São Mateus] と [フニクラ](#) [Funicular]

駅の近くに位置しており、お体の不自由な方のためにこの地域と歴史的な中心をつなぐバリアフリーの交通手段です。丘を避けるための最も便利な手段として駅の隣にあるカテドラルに隣接する庭 [アドロ・ダ・セ](#) [Adro da Sé] (7) でヴィゼウツアーを開始することをおすすめします。



Photo: Viseu - Adro da Sé © ARPT Centro de Portugal

町の横顔を定義する大きな2つの塔により装飾された壮大なファサードを持つ [カテドラル](#) [Sé Catedral] (8) はトレス・エスカロンエス・パレス [Paço dos Três Escalões] として知られる御影石製の壮大なモニュメント郡の一部です。入り口には長い階段があり、マヌエル様式とバロック式の祭壇画で飾られた威厳ある円形天井の内部にはアクセスできないようになっています。隣接した建物はバリアフリーの広々とした室内スペースを持つ [グラン・ヴァスコ美術館](#) [Museu Grão Vasco] (9) を備えています。様々な著名な作品にはそれを名付けた画家による15世紀から16世紀のすばらしい屏風一式も含まれます。広場の向かいには口ココ調の装飾が豊かに施されたファサードを持つ [ミゼルコルディア教会](#) [Igreja da Misericórdia] (6) があります。御影石とは対照的に、歓喜の調べの響きが聞こえます。入り口には長い階段がありますが、段差のない設備もあり、車椅子でもお入りいただけます。



Photo: Viseu - Igreja da Misericórdia © Shutterstock | Álvaro German Vilela

こちらからはヴィゼウの中心地を見渡せる完全バリアフリーのルートのご利用をおすすめします。背景を彩る威厳あるパセイオ・コーネゴスを満喫し、それにちなんで名付けられた国王の銅像が見える町のメイン広場の1つであるドン・ドゥアルテ広場[Praça D. Duarte] (5)から出発します。ディレイタ通り(4)とフォルモザ通り[Rua Formosa] (3)を降り進んでいくと大通りがあり、そこではたくさんの伝統的なお店に加え、特にローストした子牛肉[Vitela à Lafões]、カスターニャ・デ・オヴォシユ(卵の栗)[castanhas de ovos]とヴィリアート(V字のペストリー)[viriatos]のようなお菓子に力を入れた地元料理を味わえる様々なレストランとカフェにたどり着きます。



Photo: Viseu © Emanuel Siqueira

ロシオ[Rossio]

として知られるレパブリカ広場は町の中心であり非常に興味深いいくつかの建物が側面に連なっています。ライムの木とテラスの陰は、田舎の世界の寓話が描かれた壁を覆うタイルパネルを鑑賞するため地元住民と旅行者の休息に利用されています。この広場は18世紀の宗教的建築物のすばらしい例である**オルデン・テルセイラ・デ・サンフランシスコ教会**[Igreja da Ordem Terceira de São Francisco] (2)に通じる階段から始まります。内部では特に聖フランシスの人生を描いたタイルとロココの祭壇画をじっくりご覧ください。援助がないとアクセスが難しい階段がありますが、左手の入り口をご利用ください。



Photo: Viseu © Arquivo Turismo de Portugal

ヴィゼウには庭が豊富にあるので、そのひとつである**アキリーノ・リベイロ公園**[Parque Aquilino Ribeiro] (1)でこの旅を締めくくることをおすすめします。こちらは町の緑の肺と呼ばれており、様々な品種の植物、湖、草地があり自然とのふれあいを満喫できる心地よい場所です。新たな発見への関心を高める試みのうち文学に関するものとしては、その公園がこの地区出身の作家で自身の作品に地元の人々の魂と気質をうまく表現したアキリーノ・リベイロ [Aquilino Ribeiro] (1885-1963)から名付けられたということです。

お役立ち情報

バス

STUV(ヴィゼウの近代交通サービス)[Serviço de Transportes Urbanos de

Viseu]バスには車内の十分なスペース、お体の不自由な方専用の場所、可聴式および可視式警告、乗車用段差解消装備があります。ヴィゼウのバスステーション[Central de Camionagem]に入るため建物の左側に傾斜通路があります。チケットカウンターは低く作られておらず、上階にはお体の不自由な方用のトイレはありません。内側にはバリアフリーの通路がないため建物の外側から発車プラットフォームへ行く必要があります。

通路に沿った場所にあるバス停は屋根が大きく、バリアフリーです。様々な路線の時刻表と料金情報を確認することができます。

STUV社 – www.stuv.weebly.com

フニクラ[Funicular]

フニクラ・デ・ヴィゼウ[Funicular de Viseu]は、カヴァ・ド・ヴィリアート通り[Rua da Cava do Viriato]とアドロ・ダ・セ[Adro da Sé]をつなぎます。車両は完全にバリアフリーで提供されており、入り口は平らで、可聴式警告と広いスペースがあり、お体の不自由な方もご利用いただけます。

カヴァ・ヴィリアート通りのフニクラ停車場は平らで滑らかで障害物のない入り口となっています。シルヴァ・ガイオ通り[Rua Silva Gaio]のフニクラ停車場は滑らかで平らであるためお体の不自由な方にとって障害物がありません。トラヴェッサ・ミゼルコルディア[Travessa da Misericórdia]にアクセスできるエレベーターがあります。

営業時間:8am - 7.30pm

鉄道

ヴィゼウには稼働中の鉄道駅はありません。最寄り駅はヴィゼウから17kmのマンガアルデ[Mangualde]とヴィゼウから22kmのネラス[Nelas]にあります。

車両は、体に障がいのある方に十分配慮された広さがあります。プラットフォームからも乗車しやすく、車内空間は広々として、移動中も可聴化・可視化された通知で各停車駅を確認することができます。

ポルトガル鉄道[CP-Comboios de Portugal]は、SIM = 統合モビリティサービス[*SIM - Serviço Integrado de Mobilidade*] (インテグレートド・モビリティ・サービス) に関する情報を、年中無休・24時間、電話(+351) 707 210 746 (707 210 SIM)で提供しています。障がいのある方はこのサービスで、電車や駅のアクセシビリティ、乗車時・乗車中・降車時のサポート、その他の情報を確認できます。

詳細はこちら: www.cp.pt